

目次

概要

[作業待ち行列バックアップを軽減する作戦](#)

概要

この資料は Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) の作業待ち行列バックアップを軽減するためによくある作戦を記述したものです。

作業待ち行列バックアップを軽減する作戦

作業待ち行列バックアップの最も典型的な原因はシステムが過度に負わせられることです。パフォーマンス調整コンフィギュレーション サーバのロードを減らすことができたりおよび/またはより多くのアプライアンスを追加します。多くの場合、パフォーマンスチューニングは全体的なパフォーマンスを改善して十分です。

作業待ち行列バックアップの軽減を助けるかもしれない作戦のリストはここにあります。

- リスナー最大グローバル な同時実行をにより少しにより 300 減らして下さい。絶対に必要としてだけ増加し、結果として生じるシステムパフォーマンスを監視して下さい。
- 音量スパイクがあるとき、作業待ち行列を流出させ、全体的な システム パフォーマンスの改善を助けるために 80% この値または多くを減らして下さい。
- すべてのホスト アクセス 表 (帽子) 設定を検討し、組織によって必要な最大数にすべてのポリシーの設定およびデフォルトを減らして下さい。たとえば、ESA は 100 MB の受け入れられるメッセージサイズ デフォルトの最高値のと出荷します。電子メールはファイルを送信するメディアの悪い選択この大きいであり、ほとんどの組織および多くの ISP はそれを禁止します。10MB に近い方に何かこれを減らしたいかもしれませんが。10MB より大きいメッセージを受け入れる必要がある場合非常に低い (10-20) 最大グローバル な同時実行で特に設定される ESA にこれらのメッセージを指示するのにメッセージ フィルターを使用して下さい。
- ほぼすべての環境では、ROOT Domain Name Server (DNS) の使用は頻繁に DNS lookup よりよいパフォーマンスという結果に終わります。
- ESA の反スパム エンジンに負わせる前にスパム トラフィックを削減するために帽子で SenderBase 評判スコア (SBRS) 設定を使用して下さい。
- とにかく跳ねられるあらゆるメッセージの処理をショートさせるのに会話型 Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 受信者の検証を使用して下さい。

- 控え目に押すフッターを使用して下さい。フッター押すことは処理している間パフォーマンスを低下させるメッセージのマルチプルコピーが維持されることを必要とします。
- 確認メッセージ フィルター。正規表現が高価で、パフォーマンスを低下させるので、フィルターの数および複雑な状況を簡素化して下さい。

それ以上のヘルプのための承認されたサポートセンターに連絡して下さい。

最終的に、会社の電子メール音量を処理するシステムの正しい数を持っていることは重要です。環境をサイズ調整をする必要がある場合アプライアンスの適切な桁数の判別を助けるように営業担当者に連絡して下さい。